



折り畳みキーボード取扱説明書

Bluetooth+2.4G USB無線両対応



デジタル説明書や製品使用動画などの
コンテンツは、右側のQRコードをスマートフォンで
スキャンしてください。



この度は弊社のBluetooth+2.4G USB無線両対応タッチパッド搭載折り畳みキーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございました。ご使用前に、この説明書をお読みにになり、正しく安全にお使いください。この説明書は商品と共に保管するようにお願いします。また、説明について疑問がある場合、商品の不具合を感じた場合は、お気軽にご連絡ください。至急対応させていただきます。

Get Win with EWiN

目次

1.注意事項《非常に重要》	01
2.製品仕様	02
3.パッケージ内容	02
4.各部の名称と動き	03
5.充電について	04
6.LED指示ランプの反応に関して	05
7.Bluetooth接続方法	06
8.※トラブルシューティング※ 【Bluetooth接続に関する問題】	07
9.2.4G USB無線接続方法	10
10.※問題対処法※ 【2.4G USB無線接続に関して】	11
11.接続端末の切替	12
12.マルチメディアファクションキーの機能	12
13.※問題対処法※ 【キーボードのキー使用に関して】<重要>	13
14.トラックパッドジェスチャ	21
15.オートスリープに関して	29
16.製品のお手入れ方法	29
17.アフターサービス	31

注意事項《非常に重要》

(1)

①または②ランプが遅く点滅する：Bluetoothが未接続状態であることを示す

①または②ランプが速く点滅する：Fn+Z(Pairing)を長押ししたら、Bluetoothペアリングモードに入ったことを示す

(2)

本キーボードの電源スイッチをオンにした後、接続状態である場合、LEDランプ(①または②または2.4Gランプ)が数秒間青く点灯してから消灯しますが、未接続の場合、LEDランプ(①または②または2.4Gランプ)が数秒間青く点灯してから30秒間ぐらい遅く点滅して消灯します。それは商品の設計ですが、キーボードを充電できない問題/故障ではないです。

(3)

Bluetoothペアリングモードに入るために、Fn+①/②を押してから、Fn+Z(Pairing)をLEDランプが速く点滅するまでに長押ししてください。Fn+①/②を押さなくて、直接Fn+Z(Pairing)を長押しすると、Bluetoothペアリングモードに入ることができません。

(4)

左右クリック機能を使用できるように、Win OS 10以上/iOS 13.4.1以上のバージョンが必要です。

(5)

一部の記号(@など)の入力がずれる場合、説明書の「※問題対処法※【キーボードのキー使用に関して】＜重要＞」の「(1)問題：一部のキーを押して印字通りに入力できない。」部分の内容をご参照ください。

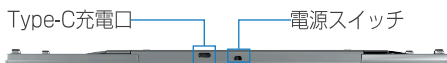
製品仕様

キーボードのサイズ	34.15x11.49x1.10cm(開く状態) 18.43x11.49x1.94cm(折りたたんだ状態)
タッチパッドのサイズ	10.16x6.29cm
キーボードの重量	303.6g
キーを使用する動作電流	<3mA
タッチパッドの動作電流	8mA
動作電圧	3.0~4.1V
動作距離	10m
スタンバイ電流	<1mA
スリープ電流	22 μ A
スリープ時間	20分間
スリープ状態からの復活方式	任意のキーを押すこと
バッテリー容量	180mAh
適用充電電圧電流	5V 1A/2A
接続方式	Bluetooth5.0 と 2.4G USB無線両対応
対応OS	Windows/iOS/Mac

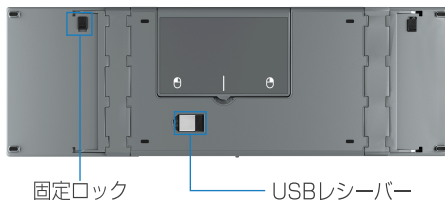
パッケージ内容

- 折りたたみBluetooth
+USB無線両対応キーボード*1
- USBレシーバー*1
- スタンド機能付き保護ケース*1
- 日本語取扱説明書*1
- Type-C充電ケーブル*1

各部の名称と動き



Bluetooth接続ボタン(Fnと同時にLEDランプが速く点滅するまでに長押し必要)



充電について

1.ご使用前に付属のUSB-A&Type-Cケーブルでキーボードを十分に充電してください。電気不足であれば、正常に使用できない場合があります。

2.電量は少なく、電圧が3.2Vより低いと、右1番目のLEDランプが赤く点滅します。その時は、キーボードを充電する必要があります。フル充電は2-3時間が必要です。充電する時にLEDランプが緑に点灯して、フル充電したら消灯します。

ご注意：本キーボードの適用充電電圧電流は5V 1A/2Aです。充電する時に充電器の電圧/電流をご確認ください。5Vより高い電圧または2Aより高い電流の充電器の使用をやめてください。電池を損傷する可能性があります。バッテリー寿命を延ばすために、充電完了したら、できるだけ早く充電ケーブルを抜き出してください。長時間使用しない場合はキーボードの電源をオフにしてください。

LED指示ランプの反応に関して

■ 左一番目の「①」、左二番目の「②」：

電源オン：電源スイッチをON側にしたら、接続状態である場合、LEDランプが数秒間青く点灯してから消灯しますが、未接続の場合、LEDランプが数秒間青く点灯してから30秒間ぐらい遅く点滅して消灯します。

Bluetoothペアリング：電源オンの状態でFn+Pairingを長押ししたら、LEDランプが速く青く点滅し、キーボードがペアリングモードに入ります。Bluetooth接続が完了になったらLEDランプが消灯します。

デバイス切り替え：Fn+①/②を押したら、LEDランプが3秒間ぐらい青く点灯してから消灯します。押した後、ランプが無反応であれば、キーボードは既にこの接続先に切り替えた状態である可能性があります。

■ 左三番目の「2.4G」：

電源オン：電源スイッチをON側にしたら、接続状態である場合、LEDランプが数秒間青く点灯してから消灯しますが、未接続の場合、LEDランプが数秒間青く点灯してから30秒間ぐらい遅く点滅して消灯します。

デバイス切り替え：Fn+2.4Gを押したら、LEDランプが3秒間ぐらい青く点灯してから消灯します。押した後、ランプが無反応であれば、キーボードは既にこの接続先に切り替えた状態である可能性があります。

■ 左四番目の「A」：

Caps Lockキーを押すことで、英数大文字と小文字の切り替えができます。「A」ランプをオンにした後、キーボードを使用する際に「A」ランプは常時青く点灯していますが、途中に無操作の状態でも20分間続くと、「A」ランプが消灯します。（一部の機種や入力アプリでは大文字が固定されない場合もあります。）

■ 左五番目の「」：

▶ 充電する時にLEDランプが緑に点灯して、フル充電したら消灯します。電圧が3.2Vより低いと、ランプが赤く点滅します。FnとTabを同時に押すと、赤いライトの点滅回数からバッテリー残量を確認できます。1回は25%以下、2回は26%～50%、3回は51%～75%、4回は76%～100%になります。

Bluetooth接続方法

1 台目の端末に接続する方法

1) 電源スイッチをOFFからON側にスライドし、「①」または「②」または「2.4G」LEDランプが数秒間青く点灯してから30秒間ぐらい遅く点滅して消灯します。

2) 接続する前に一度Fn+A(①)を押してから、Bluetooth接続用のZ(Pairing)とFnキーを同時に「①」ランプが速く青く点滅するまでに長押ししたら、キーボードがペアリングモードに入りました。

3) お使いの端末（携帯、タブレットなど）のBluetoothをオンにし、接続可能なデバイスを検索してください。

4) お使いの端末のBluetooth管理画面に本製品の認識[EWiN BT5.0 KB]が検出されましたをクリックします。「Bluetoothペアリング」という内容のポップアップが出て、「ペア」をクリックします。

5) 暫くしてBluetooth管理画面に本製品の認識[EWiN BT5.0 KB]のところに接続済みと表示されましたら、接続完了になり、キーボードを操作できるようになります。

2 台目の端末に接続する方法

上記の1台目の端末に接続する方法をご参考の上、接続する前にFn+S(②)を短押しして、第2台目の端末のペアリングを実行してください。この操作が完了した後は2台の端末が全て待受状態になります。

※トラブルシューティング※ 【Bluetooth接続に関する問題】

(-) お使いのデバイスがこのキーボードのBluetoothを検出できない場合：

1)ペアリングモードの確認: Fn + ① または ② を押した後、Fn + Z (Pairing) を長押しします。「①」または「②」ランプが青く高速点滅していれば、ペアリングモードになっています。

2)バッテリー残量の確認: このキーボードまたはお使いのデバイスのバッテリー切れが原因の可能性があります。十分に充電してから再度お試しください。

3)お使いのデバイスのBluetooth再起動: お使いのデバイスのBluetoothを一旦オフにしてから再度オンにし、ペアリングをやり直してください。改善しない場合は、お使いのデバイスを再起動してください。

4)キーボードの再起動: このキーボードの電源を入れ直し、再度ペアリングを試みてください。

5)距離の確認: お使いのデバイスとこのキーボードの距離が離れすぎていると、Bluetooth信号が弱くなります。1m以内で操作することをお勧めします。

6)周辺環境の確認: このキーボード周辺に金属物、磁気を発するもの、または他の無線機器（Wi-Fiルーター、電子レンジ、コードレス電話など）があると、Bluetooth接続が妨害される可能性があります。それらの電源またはBluetoothをオフにするか、それらから離れてください。

7)OSの更新確認: お使いのデバイスのOSが最新版でない場合、不具合の原因になることがあります。OSの更新状況を確認し、最新版にアップデートしてから接続を試みてください。

お使いのデバイスがこのキーボードを検出できるが、ペアリングできない場合：

1)キーボードの再起動： このキーボードの電源を入れ直し、再度ペアリングを試みてください。

2)ペアリング情報の削除： お使いのデバイスは本キーボードを接続したことがあり、お使いのデバイスのBluetoothをオフにしてからオンにして、Bluetooth記録一覧にある本キーボードの認識をタッチしても接続できないのです。その場合は本キーボードの認識を解除してからBluetooth接続をやり直してください。

3)接続先の切り替え(マルチペアリング時)： 本キーボードがマルチペアリング可能で、複数デバイスで使用している場合は本キーボードが他のデバイスに接続されている可能性があります。その際にお使いのデバイスのBluetooth管理画面に表示されている認識をタッチしても接続されません。「接続できませんでした」という内容のポップアップが出ます。Fn +  または  を押して接続先を切り替えてから使用してください。

4)バッテリー残量の確認： このキーボードまたはお使いのデバイスのバッテリー切れが原因の可能性があります。十分に充電してから再度お試しください。

5)デバイスの負荷確認： お使いのデバイスのメモリ不足やCPU高負荷が原因でフリーズする可能性があります。不要なアプリを終了・アンインストールするか、 お使いのデバイスを再起動してください。

6)周辺環境の確認： このキーボード周辺に金属物、磁気を発するもの、または他の無線機器（Wi-Fiルーター、電子レンジ、コードレス電話など）があると、Bluetooth接続が妨害される可能性があります。それらの電源またはBluetoothをオフにするか、それらから離れてください。

7)複数台購入時の名前重複： 同じデバイスで同型キーボードを複数台使用する場合、Bluetooth名が重複して混乱することがあります。お使いのデバイスのBluetooth設定で不要な登録情報を削除してから、接続したいキーボードとペアリングしてください。

㊦ ペ어링実行中にPINコードが表示されないが、PINコードの入力が要求される場合：

お使いのデバイスに既に接続されている入力機器（有線キーボード、ノートPC内蔵キーボード、タッチパネルなど）で、任意の数字（例：1111、1234）を入力し、画面の指示（「接続」など）をクリックします。その後、接続したいBluetoothキーボードで、同じ数字を入力し、Enterキーを押します。

㊧ ペ어링成功後もキーボードが操作できない場合：

お使いのデバイスで本キーボードの登録情報を削除し、お使いのデバイスのBluetoothをオフ/オンにします。このキーボードの電源を入れ直し、再度ペ어링を実行してください。

㊨ Bluetooth接続が頻繁に切れる場合：

1)バッテリー残量の確認: このキーボードまたはお使いのデバイスのバッテリー切れが原因の可能性があります。十分に充電してから再度お試しください。

2)周辺環境の確認: このキーボード周辺に金属物、磁気を発するもの、または他の無線機器（Wi-Fiルーター、電子レンジ、コードレス電話など）があると、Bluetooth接続が妨害される可能性があります。それらの電源またはBluetoothをオフにするか、それらから離れてください。

3)デバイスの負荷確認: お使いのデバイスのメモリ不足やCPU高負荷が原因でフリーズする可能性があります。不要なアプリを終了・アンインストールするか、お使いのデバイスを再起動してください。

4)省電力モードの確認: お使いのデバイスが省電力モードの場合、Bluetooth接続が不安定になることがあります。省電力モードをオフにしてください。

5)スリープからの復帰: このキーボードは約20分操作がないと省エネのためスリープ状態になります。任意のキーを押すと復帰し、自動的に再接続されます。

6)OSの更新確認: お使いのデバイスのOSが最新版でない場合、不具合の原因になることがあります。OSの更新状況を確認し、最新版にアップデートしてから接続を試みてください。

〔六〕キーボードの故障確認方法:

デバイスの接続確認:お使いのデバイスが他のBluetooth機器（マウスやキーボード）と正常に接続・使用できるか確認します。

他のデバイスでキーボード確認: 本キーボードを別のデバイス（スマホ、タブレット、別のPCなど）とペアリングし、正常に動作するか確認します。

結果の判断:

お使いのデバイスは他の機器と使えるが、本キーボードだけ使えない → 本キーボードの故障の可能性が高い。

本キーボードがどのデバイスでも接続・使用できない → 本キーボードの故障の可能性が高い。

本キーボードは他のデバイスでは使えるが、特定のデバイスでだけ使えない → その特定デバイス側に問題の可能性が高い。

本キーボードの故障が疑われる場合は、お手数ですがメーカー（弊社）までご連絡ください。迅速に対応させていただきます。

2.4G 無線接続方法

1.キーボードの電源スイッチをオンにします。

2.Fn+D(2.4G)を押します。「2.4G」LEDランプが数秒間青く点灯してから30秒間ぐらい遅く点滅しますが、2.4G接続モードに入ります。

3.ランプが遅く点滅する時にUSBレシーバーをUSBポート(お使いのデバイスはUSBポートがある必要)に挿した後、「2.4G」LEDランプが消灯します。キーボードは使用できるようになります。

※問題対処法※

【2.4G USB無線接続に関して】

(1) 2.4G USB無線接続をした後、キーボードが無反応であれば、これはキーボードとレシーバーとのコードペアリングが切れた可能性があります。

キーボードとUSBレシーバーとのコードペアリング方法：

USBレシーバーをUSBポートから抜き出します。Fn+2.4Gを押してから、Esc+^を「2.4G」ランプは青く速く点滅するまでに長押しします。USBレシーバーをUSBポートに再度挿入してからランプが消灯してコードペアリングが完了します。幾度も成功できない場合、他のUSBポートに挿入して同じ方法で実行してください。ご注意：コードペアリングの時に、キーボードとレシーバーとの距離は20cm以内であることを控えたほうがいいです。

また、USBレシーバーをちゃんと挿入しなく、またはUSBレシーバーとUSBポートとの接触不良、それともお使いのデバイスはUSBレシーバーを識別できない原因もあります。

その際は、USBレシーバーを抜き出してからよく挿入して、それとも他のUSBポートへの挿入をお試しください。

(2) キーボード以外の電波の干渉を受けると、2.4G USB無線の接続はうまくできなくなる場合、本製品の使用が不安定になってしまいます。ほかの電波を放射する機器の電源をオフにするか遠いところへ持ち運んでください。キーボードを金属のデスクに置いて、レシーバーを挿入されたコンピューターの本体はデスク下にある場合、金属のデスクは2.4Gの電波を遮る場合があります。本キーボードの使用も不安定になる可能性があります。木材のデスクを使用して、またはコンピューターの本体をデスク上に置いてください。

(3) お使いのパソコンはUSBレシーバーを識別できなく、「デバイスドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした。」という表示であれば、QRコードの内容はWin7でUSBドライバーのインストール手順で、ご参照ください。この方法はだめなら、お使いのパソコンのシステム問題で、可能であれば、システムを再インストールしてください。



接続端末の切替

本製品は3台の端末を接続する可能です。複数台の端末に接続している場合はFn+A/S/Dを押して接続先を切り替えることができます。

 +  = Bluetoothデバイス1

 +  = Bluetoothデバイス2

 +  = USB無線デバイス3

マルチメディアファクションキーの機能

システム キー	Windows	Windows	Mac/iOS	Mac	iOS
操作	直接押す	Fnと同時に押す	直接押す	Fnと同時に押す	Fnと同時に押す
	Esc	既定のブラウザを開く	ホームへ	Esc	Esc
	F1	検索	検索	F1	
	F2	全部選択	全部選択	F2	
	F3	コピー	コピー	F3	
	F4	ペースト	ペースト	F4	
	F5	切り取り	切り取り	F5	
	F6	前の曲	前の曲	F6	
	F7	ポーズ/再生	ポーズ/再生	F7	
	F8	次の曲	次の曲	F8	
	F9	ミュート	ミュート	F9	
	F10	音量減少	音量減少	F10	
	F11	音量増加	音量増加	F11	
	F12	画面ロック	画面ロック	F12	

※ご注意：

お使いの端末の違いによっては個別のマルチメディアファクションキーは使用できない場合がありますのであらかじめご了承ください。「検索」、「画面ロック」キーは一部の古いバージョンのMac/iOSデバイスでは使用できないのです。

※問題対処法※

【キーボードのキー使用に関して】重要

(1) 問題：一部のキーを押して印字通りに入力できない。

対処法：

1)本キーボードはiOS/Windows/Macに対応していますが（他のOSのデバイス<Switch、ChromecastやTVなど>に対応していない）、ご使用前にキーボード印字通りに入力できるように一度Fnと組み合わせてキーボードのレイアウトをご使用端末のOSと一致するように設定してください。Fn+Qを押して、iOSシステムに切り替え、Fn+Wを押して、Winシステムに切り替え、Fn+Eを押して、Macシステムに切り替えてください。

 +  = iOSシステム

 +  = Windowsシステム

 +  = Macシステム

2)本キーボードはJIS日本語配列で、一部の記号（@など）の入力がずれる場合、原因は本キーボードが英語配列キーボードとして認識されている可能性が高いので、Bluetooth/2.4G USB無線接続をした後、一度物理キーボードレイアウトを日本語に設定してから動作確認をしてください。

設定方法は下記の通りです。

iOSデバイスの設定方法：

iOSデバイスは一般的に自動的にこのキーボードレイアウトを日本語に識別できるのですが、識別できない場合、手動でご設定ください。

設定→一般→キーボード→ハードウェアキーボード、ハードウェアキーボードに表示されたレイアウトを下記通りに設定してください。

日本語ローマ字⇒自動 英語⇒自動

日本語かな⇒かな入力

Win OSデバイスの設定方法(Win10を例として)：

- ①「設定」を開いて「時刻と言語」をクリックします。
- ②左側で「地域と言語」または「言語」を選択し、右側の「言語」または「優先する言語」にある「日本語」をクリックします。
- ③ボタンが表示されるので「オプション」をクリックします。
- ④言語のオプション画面が開きますので「レイアウトを変更する」をクリックします。「レイアウトを変更する」をクリックしたら、「日本語キーボード（106/109キー）」と「英語キーボード（101/102キー）」が表示されると思いますが、ここには「日本語キーボード（106/109キー）」を選択してから再起動してください。

また、Win7での設定方法は下記のQRコードの内容をご覧ください。



Mac OSデバイスの設定方法：

Mac OSデバイスは一般的に自動的にこのキーボードレイアウトを日本語に識別できるのですが、識別できない場合、手動でご設定ください。

- ①アップルメニューから「システム環境設定」を選択。
- ②「キーボード」を選択。
- ③「キーボードの種類を変更」を選択。

④「続ける」をクリック。

⑤「Z」のキーを押下。

⑥「ろ」のキーを押下。

⑦「JIS（日本語）」を選択した後、「完了」をクリック。

※物理キーボードレイアウトの設定方法はお使いの端末のOSバージョンによって手順が違います。うまく設定できない場合はお使いの端末とOSをご確認の上、注文履歴よりメールにて弊社にご連絡ください。

3)上記1)2)のことを実行した後キー入力は依然としてずれる場合、原因はご使用端末がほかの英語配列キーボードと接続したことあり、デフォルトで本日本語配列キーボードを英語配列キーボードに識別したのです。ご使用端末のBluetoothデバイス一覧の接続記録を全部解除して、有線キーボードのケーブル/2.4G接続キーボードのレシーバーをデバイスから抜き出してご使用端末を再起動してから本キーボードのみの接続をやり直してください。このようにしてからご使用端末は本キーボードを日本語配列キーボードに識別でき、キーの入力は正常に復帰できます。

(2) 一部のキー説明(使用できないキーなど)

a.本キーボードは多システム（iOS/Windows/Mac）対応ですが、全てのキーは全部のOSのデバイスで使えるわけではないです。F1～F12はiOS端末では使用できません。NumLock、テンキーエリアの矢印キー/Home/End/PgUp/PgDn/Ins/DelはiOSとMac OSデバイスでは使用できないのです。「Alt・Cmd」、「Win・Opt」キーはiOS/Mac OSデバイスではWinとAltが使用できなく、Win OSデバイスではOptとCmdが使用できないのです。「検索」、「画面ロック」キーは一部の古いバージョンのMac/iOSデバイスでは使用できないのです。「半角・全角漢字」、「カタカナひらがな・ローマ字」キーはiOS/Mac OSデバイスでは使用できないのですが、Win OSデバイスでは日本語入力モードのみで使用できます。「変換・かな」、「無変換・英数」キーは、Win OSデバイスでは「変換」と「無変換」が日本語入力モードのみで使用でき、iOS/Mac OSデバイスでは「かな」と「英数」キーの機能あります。青い印字のキーが一般的にはFnと組み合わせる必要あります。

b.バックスラッシュ「\」のキーが印字通りに入力できない場合、Win OSデバイスでは入力方法/フォントを変換した後正常に復帰できます。Mac OS/iOSデバイスでは、ローマ字/英語入力方法を切り替えた後、Optionと¥キーを同時に押して入力できます。さらに、一部の古いMac OSデバイスでは設定を変更する必要があります。設定手順：「システム環境設定」>「キーボード」>「入力もと」>「日本語」>「¥」キー生成>\(バックスラッシュ)を¥(円マーク)に変更してください。

c.青い印字のHome/End/PgUp/PgDnについて、Mac OSデバイスではFn+青い印字のPgUp/PgDn/Home/Endが機能しない場合、Cmd+PgUp/PgDn/Home/Endを押してください。iOSデバイスでは、Fn+Qでシステム切り替えをしないと、Fn+青い印字のPgUp/PgDn/Home/Endが機能しない場合、Ctrl+矢印キーでお試してください。

d.Windows端末ではCtrl+Cで選択した内容をコピーして、Ctrl+Vで貼り付けできますが、iOSとMacではCmd+Cで選択した内容をコピーして、Cmd+Vで貼り付けしてください。

e.Windows端末ではテンキーエリアの0から9までの数字と演算記号のキーを入力できます。またNumLockを押すと、テンキーエリアの数字や小数点が入力出来なくなり、数字に印刷された矢印やDel機能などが利用できるようになります。iOSとMac端末ではNumLockを押してもテンキーをロックすることができませんので、あらかじめご了承ください。

f.キーボードのアルファベットテンキー両方の機能あるキーをオンにしたら、**O/U/I/O/P/J/K/Lなどのキー**が正常に反応できなくなってしまいます。アルファベットテンキー両方の機能あるキーをオフにしたら、正常に復帰できます。

オフにする方法は下記の通りです。

Win OSデバイス：

Fn+NumLockを押します。

iOSデバイス：

設定→アクセシビリティ→タッチ→
AssistiveTouch→マウスキー→「マウスキー」と
「主キーボードを使用」との二つのボタンをオフに
してください。

Mac OSデバイス：

「システム環境設定」>「アクセシビリティ」>
「マウスとトラックパッド」>
「マウスキーを有効にする」にチェックを外せ、マウスキーは無効
になります。

③ かな入力をする前に、ご使用端末でかな入力方法をインストールする必要があります。

かな入力方法をインストールする手順：

iOSデバイス：

設定→一般→キーボード→キーボード→新しいキーボードを追加→
日本語→「かな入力」を選択→「完了」をクリック

Win OSデバイス：

日本語入力方法のインストールパッケージをダウンロードしてインストールします。

Mac OSデバイス：

システム環境設定⇒キーボード⇒入力方法⇒左下の「+」をクリック⇒日本語⇒「日本語-かな」を選択⇒「追加」をクリック

(4) 入力方法切り替え

Windows端末⇒

Shift+Alt:多国語入力アプリの切り替え（多国語の入力アプリがインストールされた場合）

Shift+Ctrl:複数日本語入力アプリの切り替え（複数の日本語入力アプリがインストールされた場合）

Caps Lock(英数)：日本語入力⇄英数

変換・かな：日本語入力⇄英数

半角・全角漢字：日本語入力⇄英数

カタカナひらがな・ローマ字:ローマ字入力⇄かな入力

無変換・英数:ひらがな⇄カタカナ⇄半角カタカナ

Win/Opt+Space:複数の入力アプリ間の切り替え（WindowsのOSバージョンや設定によっては機能しない場合もあります。）

iOS端末⇒

入力方法の切り替えショートカット：Ctrl+Space

一部古い端末はCmd+Spaceとなります。

変換・かな：日本語入力

無変換・英数：英数

Mac端末⇒

入力方法の切り替えショートカット：Ctrl+Space

一部古い端末はCmd+Spaceとなります。

変換・かな：日本語入力

無変換・英数：英数

(5) iOSデバイス (iPad/iPhone) のバージョンは13.4にアップデートされた後、「ライブ変換」がデフォルトでオンになっています。日本語を入力して行くと自動的に候補を判別して漢字に変換されて、変換候補の画面が表示されない場合があります。

お手持ちのiOSデバイスで「設定」→「一般」→「キーボード」→「ハードウェアキーボード」の「ライブ変換」をオフにすると、文字入力時に変換候補の画面が表示され、自由に入力候補を選択できます。

(6) キー入力の反応が悪い/遅延する/連打される場合：

以下の項目をご確認ください。

①電波干渉の可能性 (Bluetooth):

原因:他の無線機器(Wi-Fiルーター、電子レンジ、コードレス電話など)からの電波干渉により、Bluetooth接続が不安定になることがあります。

対処法:このキーボード周辺の不要な無線機器の電源またはBluetoothをオフにするか、それらから離れてください。

②バッテリー残量不足:

原因:このキーボードまたは接続先デバイスのバッテリーが切れかかっていると、動作が不安定になります。

対処法:このキーボードとお使いのデバイスを十分に充電してからご使用ください。

③デバイスの一時的な不調:

原因:接続先デバイスがフリーズしていたり、Bluetooth信号を正常に処理できない可能性があります。

対処法:接続先デバイスを再起動し、Bluetooth接続をやり直してください。

④電波干渉・障害物の可能性 (2.4GHzレシーバー使用時):

原因:

>他の無線機器からの電波干渉。

>このキーボードが金属製デスク上にあり、レシーバーを挿したPC本体が金属デスク下にある場合、金属が2.4GHz電波を遮断・弱体化させます。

対処法:

>不要な無線機器の電源を切るか、遠ざけてください。

>木製デスクを使用するか、PC本体をデスク上に移動させて、レシーバーとこのキーボードの間の障害物（特に金属）を減らしてください。

⑤キー内部の異物（ほこりなど）:

原因:キーの隙間にほこりやごみが詰まっていると、キーが正常に作動せず、反応不良・遅延・連打の原因となります。

対処法:このキーボードを逆さまにして軽く数回叩き、ほこりを落とします。

ドライヤーの冷風でキーの隙間のほこりを吹き飛ばします（※熱風は厳禁）。

⑥OS側のキーボード設定（主に連打）:

原因:OSのキーボード設定（特に「キーの繰り返し速度」や「遅延時間」）が極端に短いに設定すると、意図しない連打が発生することがあります。

対処法 (Windows例):コントロールパネル → キーボード → 速度タブで、「繰り返しの遅延時間」の設定を「長く」（またはデフォルトの中央付近）に調整してください。「非常に短い」設定は避けましょう。

(Macの場合は、システム設定 → キーボード → キーボードタブの「キーリピート」と「リピート入力認識までの時間」を調整)

⑦再接続の試行:

このキーボードの電源を一旦切り（オフ）、再度入れて（オン）、Bluetoothまたは2.4GHz接続を最初からやり直してみてください。

(7) キーキャップを取り付ける方法

キーキャップが取れた場合、パンタグラフとキーキャップは破損ないと、キーキャップをパンタグラフの真上に置いて、キーキャップの角を順に押して取り付けます。パンタグラフも取れた場合、パンタグラフをキー底部に取り付けた後キーキャップを取り付けます。

トラックパッドジェスチャ

Windows OSデバイス:

- 1.ご使用前にFn+Wを押してWindows OSに切り替えてください。
- 2.Win10とWin10以上のバージョンが必要です。Win10以下バージョンのデバイスではいくつかのジェスチャが使用できませんが、あらかじめご了承ください。



マウスの左クリック⇒
1本指でタップします。



ポインターが動く⇒
1本指でスワイプします。



マウスの右クリック⇒
2本指でタップします。



ズームする。⇒
2本の指を互いに寄せて置きます。ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小します。



マウスのスクロールボタン、上/下/左/右にスクロールする。⇒
2本指で上/下/左/右にスワイプします。



アクティブウィンドウの切り替え⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプします。



検索⇒
3本指でタップします。



アクティブウィンドウの切り替え⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプします。



タスクブラウザウィンドウを開く⇒
3本指で上にスワイプします。



デスクトップ画面へ戻る⇒
3本指で下にスワイプします。



アクションセンターを開く⇒
4本指でタップします (Win+Aを同時に押す)

iOSデバイス：

ご注意：

- ①ご使用前にFn+Qを押してiOSに切り替えてください。
- ②タッチパッドをご使用になる前には、ご使用のデバイスのOSバージョン及びタッチパッド機能が有効に設定していることをご確認ください。

OSバージョン：お使いの端末はiOS 13.4.1以降のバージョンにアップデートしていない場合はタッチパッド機能が利用できません。

お手持ちのデバイスでタッチパッドを有効に設定する方法：

「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」
→「AssistiveTouch」をオンに設定します。



クリック(カスタムが必要)⇒
1本指でタップする



ポインターが動く⇒
1本指でスワイプする



ドラッグ⇒
1本指でダブルタップしてぐっと止めて動かす



ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する(**Safariのみ対応**)⇒
2本の指をお互いに寄せて置く



上下にスクロールする⇒
2本指で上下にスワイプする



ホーム画面を左右に切り替える⇒
2本指で左右にスワイプする



Appスイッチャー画面を開く/閉じる(ホームキーをダブルタッチする)⇒
3本指で下にスワイプする



ホームに戻る(カスタムが必要)⇒
3本指でタップする



Dockを開く/閉じる(Cmd+Alt+D)⇒
3本指で上にスワイプする



起動中のAppを左に切り替える(Cmd+Shift+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプする



起動中のAppを右に切り替える(Cmd+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプする



キャプチャ(Cmd+Shift+4)⇒
4本指でタップする

タッチパッドジェスチャのカスタマイズ設定

例：3本指クリックでホーム画面に戻るに設定する方法

「設定」→「アクセシビリティ」→「タッチ」→
「AssistiveTouch」を「オン」にする→「デバイス」→「EWIN
BT5.0 KB」→「追加のボタンをカスタマイズ...」→「ボタンをカ
スタマイズ」「ポインティングデバイスのボタンを押して、アクシ
ョンを追加します。キャンセル」という内容のポップアップが出ま
す。

この画面が表示されていた状態でキーボードのタッチパッドで3本
指でクリックする→ボタンカスタマイズ機能の選択画面が出ます→
ホームを選択したら、設定完了します。

次にタッチパッドで3本指でクリックすると、ホームの画面に戻り
ます。

※トラブルシューティング※「トラックパッド操作」 【iOSデバイス向け】

1)充電状態の確認：ご使用前にこのタッチパッド付きキーボードおよび接続するiOSデバイスのバッテリー残量を十分に確保してください。バッテリー切れは動作不安定の原因となります。

2)ジェスチャの互換性：iPhoneの機種によっては、利用できないジェスチャがある場合があります。あらかじめご了承ください。

3)トラックパッドが反応しない／マウスポインターが表示されない

①AssistiveTouchの有効化:

iOSデバイスで設定→アクセシビリティ→タッチ→AssistiveTouchをオンにします。

②デバイスのメモリ解放:

お使いのデバイスのメモリ不足が原因の可能性あります。使用しないアプリを終了またはアンインストールし、メモリを解放してください。

③OSバージョンの確認:

トラックパッド機能は iOS 13.4.1 以降で対応しています。古いOSの場合はアップデートが必要です。

④トラックパッドのロック解除:

このキーボード上で Fn+ Space（スペースキー）を押し、トラックパッド機能が無効化されていないか確認してください（ロック解除）。

4)タッチ操作が思うようにいかない

タッチ調整設定:

iOSデバイスで設定→アクセシビリティ→タッチ→タッチ調整を有効にし、「タッチの持続時間」を調整すると改善する場合があります（※ この設定は画面タッチと共通です。詳細はAppleサポート記事参照）。

一時的な不調の対処:

トラックパッドから指を完全に離し、数秒待って再試行してください。改善しない場合は、iOSデバイスまたはこのキーボードの再起動を行ってください。

保護フィルムの影響:

反応が鈍い場合、キーボードのタッチパッドの保護フィルムが干渉している可能性があります。剥がしての動作確認をお試してください。

5) ジェスチャ操作の注意点:

①クリック: iOSデバイスの原因で、場合によっては複数回クリックする必要があります。ご調査いたしましたところ、市販の多くのタッチパッド付きキーボードやマウスはiOSデバイスで使用されますと、このような現象が発生しています。予めご了承ください。

②カーソルの移動: iOSデバイスのアプリアイコン画面では、マウスポインターは画面の底部に移動した後続いて移動すると、すべてのAppスイッチャー画面を開きます。一つの開いているApp画面ではマウスポインターは画面の底部に移動した後続いて移動すると、Dockプログラム欄を開きます。マウスポインターは画面の頂部に移動した後続いて移動するとロック中の画面に入ります。

③ドラッグ: iOSデバイスのアプリアイコン画面では、一つのAppアイコンを1本指で素早く2回クリックしてから指をタッチパッドに数秒間置いた後、Appアイコンを移動できます。

④上または下にスクロールする:

①ジェスチャが誤作動しないように2本指を離して平行に上下にスワイプしてください。2本の指を揃えてスワイプし、それとも斜めにスワイプしないでください。

②スクロールする時にマウスポインターを操作不可能なエリア（頂部の時間・日付曜日・wifi電量&ウェブアドレス欄&開いているウェブページ欄&メニューフローティングボール&底部のDockなどがある任意のところ）に置かないでください。

③不注意でメニューを開き、1本指でクリックすることでそれをメニューフローティングボールにした後、スクロールできなくなる場合、マウスポインターを移動した後正常に復帰できます。

④iOSシステムフリーズで、マウスポインターは画面のスクロールできないところに置かなくてもスクロールできない場合は、直接指でご使用端末の画面をスクロールして、または1本指でクリックすることで画面を活性化してください。それもダメなら、

「Assistive Touch」をオフオンにするか、Bluetooth接続をやり直すか、それともお手持ちのデバイスを再起動してください。

⑤ホーム画面を左右に切り替える：

①ジェスチャが誤作動しないように2本指を離して平行に左右にスワイプしてください。2本の指を揃えてスワイプし、それとも斜めにスワイプしないでください。

②切り替える時にマウスポインターを画面のすべての切り替えることのできないところ（頂部の時間・日付曜日・wifi電量&メニューフローティングボール&底部のDockなどがある任意のところ）に置かないでください。

③不注意でメニューを開き、1本指でクリックすることでそれをメニューフローティングボールにした後、切り替えることができなくなる場合、マウスポインターを移動した後正常に復帰できません。

④iOSシステムフリーズで、マウスポインターは画面の切り替えることのできないところに置かなくても切り替えることができない場合は、直接指でご使用端末のホーム画面を切り替えて、または1本指でクリックすることで画面を活性化してください。それもだめなら、「Assistive Touch」をオフオンにするか、Bluetooth接続をやり直すか、それともお手持ちのデバイスを再起動してください。

⑥ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する：2本の指をお互いに寄せて置くジェスチャはiOSデバイスの内蔵ブラウザのみで使用できます。

6)メール返信など長文を入力する際に手首がタッチパッドに触れて想定外のマウスポインター動きやジェスチャ機能が発生し、タッチパッドを利用しない場合は Fn + Space でトラックパッドを一時無効化してください。

7)タッチパッドが誤作動する

回答→①タッチパネルはかなり敏感にできているので、小さな汚れや水滴でも反応することがあります。一度、しっかり綺麗に拭いてみてください。

②タッチパッドをご使用になる前には、ご使用端末のタッチパッド機能を有効に設定してください。さもなければ、【1本指でタップする】、【3本指でタップする】、この二つのジェスチャが使用できない場合があります。しかも、この二つのジェスチャはご使用端

末で説明書のと一致してカスタマイズする必要があります。説明書の【タッチパッドジェスチャのカスタマイズ設定】の内容をご覧ください。

8)マウスポインターの移動速度を調整したい場合、お手持ちのデバイスで、設定→アクセシビリティ→タッチ→AssistiveTouch→軌跡の感度という手順でご設定ください。

Mac OSデバイス：

- 1.ご使用前にFn+Eを押してMac OSに切り替えてください。
- 2.一部の古いOSバージョンのMacデバイスではいくつかのジェスチャが使用できませんが、あらかじめご了承ください。



クリック⇒
1本指でタップする



ポインターが動く⇒
1本指でスワイプする



ドラッグ⇒
1本指でダブルタップしてぐっと止めて動かす



ピンチオープンすると拡大し、ピンチクローズすると縮小する(Safari MacOS内蔵ブラウザのみ対応)⇒
2本の指をお互いに寄せて置く



上下にスクロールする⇒
2本指で上下にスワイプする



画面を左右にスクロールする⇒
2本指で左右にスワイプする



底部アプリケーションバーを表示/非表示にする
(Cmd+Alt+D)⇒
3本指で上にスワイプする



起動中のAppを左に切り替える(Cmd+Shift+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて左にスワイプする



起動中のAppを右に切り替える(Cmd+Tab)⇒
3本指をタッチパッドに置いて右にスワイプする



範囲指定スクリーンショット(Cmd+Shift+4)⇒
4本指でタップする

オートスリープに関して

キーボードを20分間使用しなければ、自動的にスリープ状態に入り、キーボードのインジケータランプは消灯し、任意のキーを押したら、3秒間以内にキーボードを呼び起こし、インジケータランプは点灯します。

製品のお手入れ方法

- 1.このキーボードは防水仕様ではないので、液体が入ることを避けてください。でないと、故障/連打が生じる恐れがあります。濡れた手で本製品に触らないでください。液体と湿気のある環境に暴露させないでください。雨に濡れないでください。バスタブ、水槽、サウナ、プール、あるいはスチームハウスで使用しないでください。
- 2.定期的にキーボードのほこりを掃除機で掃除するか、ヘアドライヤーで吹き飛ばします。長い時間使用しない場合、キーボードを布などで覆います。
- 3.キーの隙間にある紙くずや髪の毛などの異物を定期的に掃除します。

4. キーボードを持ち運ぶ時、キーは硬いものに重々しくぶつけられることを避けてください。日常使用時に非常に大きい力でキーを押さないでください。キーの故障の原因になります。
5. 安全にお使い頂くために製品を自分で分解、改造、修理しないでください。
6. キーボードはスリープ状態でも、自動的に放電し始めることがありますので、電池の使用時間を長く持つために、ご使用後は必ずキーボードの電源スイッチをオフにしてください。
7. 商品と電池は極端な低温または高温の場所に暴露させないでください。直火に近づかないでください。例えば、ストーブ、ろうそく、暖炉など。
8. 鋭利なものを使用して製品を傷つけないでください。
9. 商品を清潔に保つために柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。
10. 溶剤や他の洗剤などは製品を損傷する可能性がありますので、ご注意ください。
11. このキーボードを子供様の手の届かないところに置いてください。

アフターサービス

● Ewinカスタマーサポートセンター

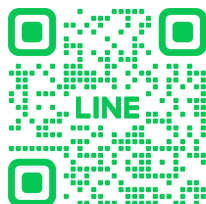
LINE ID:@078qpobg

返信時間: 平日～

午前:10:00-13:30

午後:15:00-19:00

(祝日・年末年始を除く)



LINE ID:@078qpobg

製品に関するお困りごと、スムーズに解決できます。

また、新品情報、保証期間延長など各種のサービスも獲得可能！

